

# 第7回アジア太平洋ろう者競技大会卓球競技報告書

## ①大会の概要

### 1) 大会名称

第7回アジア太平洋ろう者競技大会  
(7th ASIA PACIFIC DEAF GAMES)  
(通称:ソウル2012)

### 2) 大会期日

2012年5月26日(土)開会式～6月2日(土)閉会式  
※渡航日程 2012年5月25日(金)～6月3日(日)

### 3) 開催場所(国名、都市名、会場名)

大韓民国・ソウル市 オリンピック公園スタジアム

### 4) 運営主体

アジア太平洋ろう者スポーツ連合  
(Asia Pacific Deaf Sports Confederation)  
2012 ソウルアジア太平洋ろう者競技大会組織委員会  
(The 2012 Seoul Asia Deaf Pacific Games Organizing  
Committee)

### 5) 参加国・地域数、参加人数

参加国:25カ国・地域

オーストラリア、バーレーン、中華人民共和国、  
チャイニーズタイペイ、香港、インドネシア、イラン、  
イラク、日本、カザフスタン、大韓民国、キルギス、  
マカオ、マレーシア、ネパール、パキスタン、  
フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、タイ王国、  
東ティモール、アラブ首長国連邦、ウズベキスタン、  
イエメン

※卓球競技の参加国・地域数、参加人数

参加国:14カ国・地域

参加人数:選手65名(男子45名、女子20名)

オーストラリア、チャイニーズタイペイ、香港、  
イラン、日本、カザフスタン、大韓民国、キルギス、  
マカオ、パキスタン、フィリピン、シンガポール、  
ウズベキスタン、イエメン

### 6) 日本代表名簿

#### ○スタッフ

監督:佐藤 真二 [東京都]  
協和発酵キリン株式会社卓球部監督  
コーチ兼アドバイザー:西村 卓二 [千葉県]

東京富士大学卓球部監督

コーチ:内山 敏彦 [茨城県]

日立化成工業株式会社卓球部監督

コーチ:青山 修 [千葉県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会理事  
社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

コーチ:須藤 聡美 [埼玉県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会強化本部付

総務:伊藤 真紀 [秋田県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会理事  
一般社団法人秋田県聴力障害者協会

総務:今西 伸行 [大阪府]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会理事  
社団法人大阪聴力障害者協会

手話通訳:井出 敬子 [神奈川県]

手話通訳:豊島 絵美子 [東京都]

#### ○男子選手

梅村 正樹 [北海道] 社団法人北海道ろうあ連盟  
望月 翔太 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟  
有馬 歆生 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟  
上江洲 光彦 [沖縄県] 一般社団法人  
沖縄県聴覚障害者協会

#### ○女子選手

上田 萌 [茨城県] 社団法人茨城県聴覚障害者協会  
佐藤 理穂 [東京都] 社団法人東京都聴覚障害者連盟  
有馬 千寿子 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟  
牧山 洋子 [群馬県] 一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟

### 7) 競技スケジュール(派遣スケジュール)

5月25日(金)

総務2名(伊藤、今西)ソウル到着

夕方に日本チーム本部へ行って挨拶と確認

5月26日(土)

総務2名は開会式・試合会場下見

日本卓球チームソウル到着

夕方、ホテルにて日本卓球チームと合流

開会式出席

5月27日(日)

昼から公式練習、TD会議出席(須藤、伊藤、今西)

夕方、ホテルにてミーティング

5月28日(月)

試合:男子団戦予選リーグ、女子団体戦総当たりリーグ

(男子団体予選1位通過、女子団体2位以上確定)

5月29日(火)

試合：男子団戦決勝トーナメント(銅メダル)

女子団体戦総当たりリーグ(金メダル)

混合ダブルス

予選リーグ、決勝トーナメント(銀メダル、銅メダル)

男女団体戦、混合ダブルス表彰式

4人の選手と今西が日本チーム本部へ行って診察

5月30日(水)

試合：男子ダブルス

予選リーグ、決勝トーナメント(銅メダル)

女子ダブルス

予選リーグ、決勝トーナメント(金メダル)

男子シングルス 予選リーグ

女子シングルス 予選リーグ

1人の選手と伊藤が日本チーム本部へ行って診察

5月31日(木)

試合：男子シングルス

予選リーグ、決勝トーナメント

女子シングルス

予選リーグ、決勝トーナメント

(金メダル、銀メダル)

男女ダブルス、男女シングルス表彰式

6月1日(金)

佐藤監督、西村コーチ、内山コーチ、須藤コーチが帰国  
フリー

6月2日(土)

午前はフリー

午後から閉会式出席

6月3日(日)

帰国

## 8) 日本代表の戦績

金3個(女子団体、女子ダブルス、女子シングルス)

銀2個(混合ダブルス、女子シングルス)

銅3個(男子団体、混合ダブルス、男子ダブルス)

○団体戦

男子…銅メダル

女子…金メダル

○男子ダブルス

梅村・有馬組…銅メダル(予選リーグ1位)

望月・上江洲組…ベスト8(予選リーグ1位)

○女子ダブルス

上田・佐藤組…金メダル(予選リーグ1位)

有馬・牧山組…4位(予選リーグ1位)

○混合ダブルス

梅村・上田組…銀メダル(予選リーグ2位)

望月・佐藤組…銅メダル(予選リーグ1位)

有馬・有馬組…4位(予選リーグ1位)

上江洲・牧山組…ベスト8(予選リーグ2位)

○男子シングルス

梅村選手…ベスト8(予選リーグ1位)

有馬選手…ベスト8(予選リーグ1位)

望月選手…ベスト16(予選リーグ1位)

上江洲選手…ベスト16(予選リーグ2位)

○女子シングルス

上田選手…金メダル(予選リーグ1位)

佐藤選手…銀メダル(予選リーグ1位)

有馬選手…ベスト8(予選リーグ2位)

牧山選手…ベスト8(予選リーグ1位)

## 9) 大会記録

○男子団体戦

1位 チャイニーズタイペイ

2位 大韓民国

3位 日本

4位 カザフスタン

5位 オーストラリア

6位 香港

7位 ウズベキスタン

8位 イエメン

9位 マカオ

10位 パキスタン

○女子団体戦

1位 日本

2位 大韓民国

3位 イラン

4位 カザフスタン

5位 キルギス

○男子ダブルス

1位 LEE / PARK (KOR 大韓民国)

2位 WEN / YANG (TPE チャイニーズタイペイ)

3位 梅村 / 有馬 (JPN 日本)

4位 WANG / KUO (TPE チャイニーズタイペイ)

望月 / 上江洲…ベスト8

○女子ダブルス

1位 上田 / 佐藤 (JPN 日本)

2位 KIM / JUNG (KOR 大韓民国)

3位 LEE / MO (KOR 大韓民国)

4位 有馬 / 牧山 (JPN 日本)

○混合ダブルス

1位 LEE/JRNG (KOR 大韓民国)

2位 梅村/上田 (JPN 日本)

3位 望月/佐藤 (JPN 日本)

4位 有馬/有馬 (JPN 日本)

上江洲/牧山…決勝トーナメント1回戦敗退

○男子シングルス

1位 LEE (KOR 大韓民国)

2位 WEN (TPE チャイニーズタイペイ)

3位 WANG (TPE チャイニーズタイペイ)

4位 PARK (KOR 大韓民国)

梅村…ベスト8

有馬…ベスト8

望月…ベスト16

上江洲…ベスト16

○女子シングルス

1位 上田 (JPN 日本)

2位 佐藤 (JPN 日本)

3位 LEE (KOR 大韓民国)

4位 KIM (KOR 大韓民国)

有馬…ベスト8

牧山…ベスト8

## 10) 日本代表詳細結果

○男子団体戦

・予選リーグ (グループC)

日本 3-0 KAZ カザフスタン

日本 3-0 MAC マカオ

日本 3-0 UZB ウズベキスタン

予選リーグ1位 (3勝)

・決勝トーナメント

[準々決勝戦]

日本 3-1 HKG 香港

[準決勝戦]

日本 0-3 TPE チャイニーズタイペイ

[三位決定戦]

日本 3-0 KAZ カザフスタン

○女子団体戦 (総当たりリーグ戦)

日本 3-0 KAZ カザフスタン

日本 3-0 KGZ キルギス

日本 3-0 IRI トルコ

日本 3-1 KOR 大韓民国

○男子ダブルス

・予選リーグ

[Cグループ] 梅村/有馬 予選1位:2勝0敗

梅村/有馬 3-0 MA/NG (MAC マカオ)

梅村/有馬 3-0 NG/WAN (HKG 香港)

[Dグループ] 望月/上江洲 予選1位:3勝0敗

望月/上江洲 3-2 OH/HWANG (KOR 大韓民国)

望月/上江洲 3-1 KANT/DANIYAR (KAZ カザフスタン)

望月/上江洲 3-0 JUNAID/KHAN (PAK パキスタン)

・決勝トーナメント

[準々決勝戦 (ベスト8)]

梅村/有馬 4-0 AL/AHMED (YEM イエメン)

望月/上江洲 0-4 LEE/PARK (KOR 大韓民国)

[準決勝戦]

梅村/有馬 0-4 WEN/YANG

(TPE チャイニーズタイペイ)

[三位決定戦]

梅村/有馬 4-3 WANG/KUO

(TPE チャイニーズタイペイ)

○女子ダブルス

・予選リーグ

[Bグループ] 上田/佐藤 予選1位:2勝0敗

上田/佐藤 3-0 KIM/JUNG (KOR 大韓民国)

上田/佐藤 3-0 AZARSINA/BAHMANI (IRI イラン)

[Cグループ] 有馬/牧山 予選1位:2勝0敗

有馬/牧山 3-0 TOKBAEVA/BEKTEMIROVA

(KGZ キルギス)

有馬/牧山 3-0 MADINA/KULZHAMILA

(KAZ カザフスタン)

・決勝トーナメント

[準々決勝戦 (ベスト8)]

有馬/牧山 4-0 HABIBI&FALAH (IRI イラン)

[準決勝戦]

上田/佐藤 4-0 有馬/牧山

[三位決定戦]

有馬/牧山 0-4 LEE/MO (KOR 大韓民国)

[決勝戦]

上田/佐藤 4-1 KIM/JUNG (KOR 大韓民国)

○混合ダブルス

・予選リーグ

[Aグループ] 上江洲/牧山 予選2位:1勝1敗

上江洲/牧山 0-3 PARK/LEE (KOR 大韓民国)

上江洲/牧山 3-0 AALIEV/TOKBAEVA (KGZ キルギス)

[Bグループ] 有馬/有馬 予選1位:2勝0敗

有馬/有馬 3-0 HWANG/KIM (KOR 大韓民国)

有馬/有馬 3-0 DANIYAR/MARINA

(KAZ カザフスタン)

[Cグループ] 望月/佐藤 予選 1位 : 2勝0敗  
望月/佐藤 3-0 KANAT/NATALYA (KAZ カザフスタン)  
望月/佐藤 3-0 OH/MO (KOR 大韓民国)

[Dグループ] 梅村/上田 予選 2位 : 1勝1敗

梅村/上田 1-3 LEE/JRNG (KOR 大韓民国)

梅村/上田 3-0 YERLAN/KULZHAMILA  
(KAZ カザフスタン)

・決勝トーナメント

[準々決勝戦 (ベスト8)]

梅村/上田 4-0 PARK/LEE (KOR 大韓民国)

望月/佐藤 4-0 HWANG/KIM (KOR 大韓民国)

有馬/有馬 4-0 OH/MO (KOR 大韓民国)

上江洲/牧山 1-4 LEE/JRNG (KOR 大韓民国)

[準決勝戦]

梅村/上田 4-0 望月/佐藤

有馬/有馬 0-4 LEE/JRNG (KOR 大韓民国)

[三位決定戦]

望月/佐藤 4-0 有馬/有馬

[決勝戦]

梅村/上田 1-4 LEE/JRNG (KOR 大韓民国)

○男子シングルス

・予選リーグ

[3グループ] 梅村 予選 1位 : 2勝

梅 村 3-0 WAN (HKG 香港)

梅 村 3-0 KHAN (PAK パキスタン)

[6グループ] 望月 予選 1位 : 2勝

望 月 3-1 OH (KOR 大韓民国)

望 月 3-0 KONG (HKG 香港)

[10グループ] 上江洲 予選 2位 : 2勝1敗

上江洲 3-0 KANAT (KAZ カザフスタン)

上江洲 0-3 LEE (KOR 大韓民国)

上江洲 3-0 NG (HKG 香港)

[12グループ] 有馬 予選 1位 : 3勝0敗

有 馬 3-1 ISMATULLAEV (UZB ウズベキスタン)

有 馬 3-0 JUNAID (PAK パキスタン)

有 馬 3-0 AL (YEM イエメン)

・決勝トーナメント

[1回戦]

上江洲 4-0 WAN (HKG 香港)

[2回戦]

梅 村 4-1 WAN (AUS オーストラリア)

有 馬 4-3 GHORBANIVALIKHALI (IRI イラン)

望 月 0-4 WANG (TPE チャイニーズタイペイ)

上江洲 1-4 PARK (KOR 大韓民国)

[準々決勝戦 (ベスト8)]

梅 村 0-4 WANG (TPE チャイニーズタイペイ)

有 馬 0-4 WEN (TPE チャイニーズタイペイ)

○女子シングルス

・予選リーグ

[Aグループ] 上田 予選 1位 : 3勝0敗

上 田 3-0 IMANALIEVA (KGZ キルギス)

上 田 3-0 FALAH (IRI イラン)

上 田 3-0 MARINA (KAZ カザフスタン)

[Bグループ] 佐藤 予選 1位 : 3勝0敗

佐 藤 3-0 AZARSINA (IRI イラン)

佐 藤 3-0 NATALYA (KAZ カザフスタン)

佐 藤 3-0 JUNG (KOR 大韓民国)

[Cグループ] 有馬 予選 2位 : 2勝1敗

有 馬 3-0 TOKBAEVA (KGZ キルギス)

有 馬 3-0 BAHMANI (IRI イラン)

有 馬 1-3 KIM (KOR 大韓民国)

[Eグループ] 牧山 予選 1位 : 3勝0敗

牧 山 3-0 HABIBIB (IRI イラン)

牧 山 3-0 MADINA (KAZ カザフスタン)

牧 山 3-0 MO (KOR 大韓民国)

・決勝トーナメント

[準々決勝戦 (ベスト8)]

上 田 4-0 MO (大韓民国)

佐 藤 4-0 JUNG (KOR 大韓民国)

有 馬 0-4 LEE (KOR 大韓民国)

牧 山 0-4 KIM (KOR 大韓民国)

[準決勝戦]

上 田 4-1 LEE (KOR 大韓民国)

佐 藤 4-1 KIM (KOR 大韓民国)

[決勝戦]

上 田 4-0 佐藤

## 11) 大会の競技運営などについての報告 (問題点など)

○試合前日の公式練習の時間がはっきりとしてなかった。

朝早く会場まで行ったが、準備がまだまだでようやく練習が出来たのが12時半からだ。

しかもそれぞれの国の練習時間も自由だった。東京での世界卓球選手権みたいに前日からそれぞれの国の練習時間、コート番号を指定するやり方が望ましい。

○ドロー (組み合わせ) は、通常なら世界ランキングポイントでシード権を与えることになっているが、開催地である大韓民国が第一シードに入るという話になった。異議を訴えると他の競技も同様なので、理解して欲しいという話になって多数決で男女団体戦は韓国が第一シードに入ること

になった。さらに個人戦（ダブルス、シングルス）の抽選に入ると、個人戦も大韓民国が第一シードに入るという説明があり、絶対におかしいと訴えた。再び多数決に入り、結局世界ランキングポイント順でシード権制度に出来た。

あとから他の競技に尋ねてみると開催地の韓国が第一シードに入る話はないとわかった。

特に男子団体では世界ランキングポイント1位がチャイニーズタイペイ、2位が日本、3位が大韓民国で日本は順調に行けば決勝戦がチャイニーズタイペイとあたるはずだったが、第一シードが大韓民国だったため、準決勝戦であたるはめになった。このように結果に直結することから、次回から競技要項の不備の指摘及び APDSC への抗議方法も確認しておきたい。

- 試合進行については大会実行委員会の頑張りやタイムテーブルとおりにスムーズに進められたことは高く評価したい。
- 世界卓球選手権の時のように、予選リーグを経て決勝トーナメントを実施するのは団体戦とシングルスのみでしたが、今大会はすべての種目で予選リーグを経て決勝トーナメントという試合方式だった。密なスケジュールだったけれども、たくさんの試合ができるというメリットがあり、これもありがたかったです。
- 団体戦の細かいスコアの掲示がなかったことが残念。公式ホームページを探しても細かいスコアがアップされていない。
- アジア大会が中止続きの中、12年ぶりに開催した韓国を評価したい。

## 12) 大会の競技運営などについての報告（問題点など）

競技ルールは国際卓球ルールに基づいて競技を進めるのが本来だが、男子ダブルス三位決定戦時、相手のチャイニーズタイペイ選手のラケットを見るとラバーがラケットより小さくなっておりルール違反。スペアラケットと交換してすぐ試合を進めるのが本来だが、ラバー貼り替えに行っていた。10分過ぎても帰ってこないと棄権扱いになるはずだったが、そのまま待機していた。審判長、審判に抗議すると最終的にはTDが判断することになって、棄権扱いはしないという判決になってしまった。結局、30分以上待たせてからの試合だった。その後、別室でTD、実行委員、コーチ、総務4人で話し合いを持ち、国際卓球ルールのことをきっちり説明したらミスと認めた。

TDは今年から任務されたばかりということがあるかもしれないが、TDは基本的な国際ルールを身につけてもらいたいと思った。

また、アジア大会は世界の公認大会である事の自覚が不足し

ていると感じた。（シード制の取り扱いなど・・・）

## ②監督報告

【監督：佐藤 真二 [東京都]】

### 1) 参加目的に対する成果・評価および今後の課題

世界大会終了後の大会であり世界大会での活躍で各国から注目・分析される立場でしたが今回のチームテーマは「挑戦」でした。日本としての挑戦、指導者としての挑戦、選手個々の挑戦と色々な立場はありますが我々は怯むことなく前に向かって挑戦する精神がメダル8個を獲得できたことと選手を含めてスタッフに感謝をしています。今後は今回の経験をより多くのろうあ者に伝えスポーツの良さと卓球の面白さを感じて頂けるような啓蒙活動を行う必要があると感じています。また男子選手や上田・佐藤以外の有望な選手発掘に協会全体で頑張らねばと強く感じています。来年のデフリンピックに向けてろうあ者スポーツのリーダーとして強化本部一同協力をして金メダル獲得に全力を懸けて頑張ります。

### 2) 成績とその評価

1年前より強化合宿や健常者への大会に参加など強化に関しては順調に行えたと評価をしています、しかし大会期間中の観戦者へのサービスや各報道機関への積極的なアピール等少し欠けていたかと感じているところです。また選手の体調管理についても選手マターでの管理であり、やはり専門職の帯同は今後の大きな課題として残っていると感じています。

### 3) 役割の内容

スタッフ、選手が自分自身の置かれている立場を十分に理解をして対応は出来ていたと判断しています。ただ今後更なる組織力（チーム作り）を上げるためには役割の明確化、適材適所の人材配置が不可欠になると思います。今回の成績で満足するのならこのままで良いですが、男子選手の更なる強化・発掘、女子選手の発掘と課題は山積みです。一人に任せないで役割を明確にして精進することが大切と感じています。

### 4) 反省・まとめなど

2008年より強化体制を一新して5年目にして掴んだ8個のメダルは十分に評価できると感じています。健常の指導者を導入した前富田会長の功績は大きいと感じています。現在他のスポーツでも優秀な健常な指導者を採用していると聞いています、障害者や健常者と言う括りでなく、アスリートとして今後も更なる上を目指してスタッフと選手と力を合わせて頑張りたいと思いますので今後とも皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

### ③スタッフ報告

#### 【コーチ：青山 修 [千葉県]】

##### 1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

今大会のテーマに「挑戦・チャレンジ」を掲げた。東京での世界大会に続き、金メダル2個獲得を目標に強化合宿を積んできた。最強国中国は不参加ながらも女子は実力どおりの結果を出すことができた。一方、男子コーチとしては、男子団体戦の銅メダル、男子ダブルス戦の銅メダル獲得はまずまずの成績であり、良い経験をさせて頂くことができた。また金3銀2銅3のメダル獲得において、男子メンバーが、メダルを獲得する感覚を知り、メダル獲得の量産に貢献できたことは事実であり、この経験は今後の財産になると感じた。

##### 2) 役割の内容

佐藤監督の下でコーチを務めた。数回の強化合宿においてフットワークを中心に強化してきた。実際にプレーした選手の個人的な努力はもとより、強化合宿、海外遠征そして他のコーチたちとの連携など、今後、世界大会をどのように戦っていくべきなのかを肌で感じ、一人でも多くの選手が世界レベルのパフォーマンスを発揮できるように強化していきたい。

##### 3) 反省・まとめなど

ドーピングにおいていくつか反省点があった。大会期間中に体調不調選手が出てしまい、日本卓球協会からもらった渡航薬を飲ませたところ、後から本部の医師から注意を受けた。飲ませる前に本部に連絡をしなかったスタッフのミスであった。又、アンチドーピングについての指導不足もあり、今後は各選手にしっかり説明しなければならないと反省した。

#### 【コーチ：須藤 聡美 [埼玉県]】

##### 1) 役割

コーチとして、男子団体のベンチ、及び個人戦のベンチに入り、選手が力を発揮できるようにサポートすること。

##### 2) 参加目標・目的や役割に対する達成度

世界ろう者卓球選手権大会から数週間後の大会でしたので、選手の体調を憂慮していましたが、限られた時間と追われる立場の中で、コンディションを整え、世界大会を上回る成績を挙げられたことは大変喜ばしく、選手・スタッフに感謝しております。

##### 3) 反省と今後の課題

今大会において、男子もメダルを獲得できたことは大きな成果でした。ただ、上位国のレベルはより高く、今後、一層の努力が必要になります。

女子については、来年のデフリンピックでは、更に他国から

分析されると予想されます。

今持っている技術を磨くことに加え、新たに工夫と研究を重ねる必要があります。

今回のテーマである「挑戦」の気持ちを選手もスタッフも持ち続け、邁進していきたいと思います。

また、卓球の素晴らしさ、楽しさを伝える啓蒙活動を積極的に行い、3年、5年といった長期計画をたて、次世代の発掘、育成に力を注ぐことも急務だと思います。

##### 4) まとめ

多くの方々のご協力により、世界大会に引き続き「日本チームで金メダルを2つ獲得」の目標を達成することができました。

支えていただいた方々に心より御礼を申し上げます。

今後も更なる高みを目指して頑張ります。

#### 【総務：伊藤 真紀 [秋田県]】

##### 1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

2012 世界ろう者卓球選手権大会が終わって 20 日ばかりで清算やお礼状など大会報告も済んでないままアジア太平洋ろう者競技大会（ソウル）に向かうことになった。

TD 会議の日程がはっきりしなく、開会式前と聞いた情報から総務 2 名だけ先行出発とした。

結局、開会式後に TD 会議となるわけですが、海外の大会派遣には財政的余裕あるなしは別として 1 日前の出発が安全と思う。

渡航経費節約のために早期予約したつもりが逆にキャンセル料が発生する事態になってしまった。

さて、第 7 回アジア太平洋ろう者競技大会ですが、この大会が 12 年ぶりに開催となった事、又他スポーツ競技も実施する総合大会である事から、よく開催に持ち込んだと驚くとともに韓国ろうあ連盟の度量と心意気に敬意を表したい。韓国側のそれぞれのスポーツ団体が大会運営に一丸となる様子は深い感動をいただきました。又引き続き定期的にアジア大会が開催されます事を祈っております。

我が卓球協会強化本部では、先日の世界大会で目標とした金 2 個を達成したことからさらに上積みし、女子の金 2 個に男子のメダル獲得を目標とした。アジアの卓球レベルは世界トップクラスであるが、より高い目標を設定することでより一層の頑張りを期待した。

結果は、金 3 銀 2 銅 3 と予想以上でしたが、女子 2 名に頼りきりの内容に今後の不安を感じた。ライバル韓国では小学生選手が金メダル獲得と将来を見据えた選手育成の成果が現れているようです。

TD 会議ではランキングを基本とした組み合わせをしております。

ポイントが高い選手が有利になります。この大会には来年開催するデフリンピックに向けた重要な大会であることから選手はできるだけ成績を出しランキングポイントを出す必要性を感じた。

## 2) 役割の内容

先日の世界大会（東京）の経験と昨年の日韓中交流大会（韓国平沢市）の経験から、選手の食事面は各自で摂るように指導した。選手自身も食べ物に好き嫌いがなく、各自の栄養取得に関しては心配なく進めることができました。卓球競技は個人戦もあることから選手団そろっての食事は難しいと判断したためです。総務として、20日前の世界大会後の疲れが出るころ、また40代選手が2名居ること、そして環境変化による選手個々の体調管理に注意した。

交通関係はホテルから会場へは地下鉄で乗り換えなしの便利な場所であり、都度切符購入でなくカード(日本で言えばスイカカード)を購入し移動を楽にした。

5/26 総務団2名(今西、伊藤)先行到着。

日本選手団本部に挨拶と日程報告

5/26 開会式 選手団とホテルにて合流

そのまま開会式会場へ

5/27 TD会議 選手団は練習へ

5/28 団体戦 男子予選1位 女子2位以上確定

5/29 団体決勝 男子銅 女子金

混合ダブルス銀 銅 獲得 表彰式

5/30 男子ダブルス銅 女子ダブルス金 獲得

6/1 男子個人戦 女子個人戦 金 銀 獲得 表彰式

## 3) 反省とまとめ

今回は、世界大会（東京）後の事もあり選手の体調面の不安がありました。先行した日本選手団本部から現地では空気が乾燥しておりマスク等の準備を、との情報があり、選手にはうがい、手洗いを徹底させた。

この情報は有難かった。又、日本卓球協会専属医師から至急、海外での薬（渡航薬）を処方してもらい準備した。日本卓球協会には、本当に感謝しております。しかし選手達のドーピングに対する正しい意識が不足しており、必要以上にドーピング検査の恐怖から薬を控えてしまい、体調を崩した選手が発生したことで、改めて講習会等を開催する必要性を感じました。

他、国旗を持参したのは日本だけで、果たして本当に必要かどうか疑問を感じた。大会応援には手旗、応援棒を準備したが、他の国には何もなく、さびしい感じがした。スポーツ観戦には応援する楽しさがまだ普及してないのかと少し残念に思った。

個人的な話になりますが、12年前のアジア大会の時、出場

選手の旅費補助が大幅カットされながらも自費負担で参加した当時、某国の選手から主将として出場した私を覚えていると、話しかけられたのには感激した。その彼らも老体に鞭うち頑張る状況に思わず応援した。きっと引退したら自国の役員なるだろうと思う。もし役員同士で再会できたら一献しながら・・・と思いました。

## 【総務：今西 伸行【大阪府】】

### 1) 参加目標

盛り上がった2012世界ろう者卓球選手権大会に引き続き、多くのメダルを獲れるよう日本代表選手が試合に集中でき、120%力を発揮出来るよう環境作りなどをサポートして、多くのメダルを持ち帰ることが最大の目標。

現地からFeceBookで大会結果など情報を発信して、日本から応援している人たちに見てもらえるよう作業した。帰国後大きな反響があった。

### 2) 役割の内容

大会前

①ホテル、航空券を確保するため旅行会社と連絡やりとり

②(財)全日本ろうあ連盟と事務連絡やりとり

(エントリー申請など)

③スタッフ、選手への事務連絡

大会期間中、大会後

①日本チーム本部へ行って確認

②会場下見

③TD会議出席

④写真撮影

⑤FeceBookを利用して情報発信

⑥日本チーム本部と連絡やりとり

⑦スケジュールなど資料作成、コピー、配布

⑧選手の引率（日本チーム本部へ）

大会後

①報告書作成

②各卓球雑誌へ結果と写真掲載の依頼

③日本チーム本部と連絡やりとり

④スタッフ、選手への事務連絡

⑤資料整理

### 3) 反省とまとめ

女子は世界選手権大会に引き続き金メダル3個獲得、男子もローマデフリンピック以来、11年振りにメダルを獲れたことが一番大きかった。

日本卓球チーム総務2人の役割分担が大会直前まで明確でなかったことが反省点でした。しかし大会期間中、経験者同

士の事からお互いに度々確認しながらすすめたことから、大きな支障はなかった。

もうひとつの反省はドーピングの知識が乏しかったこと。また日本チーム本部への報告を怠ったこと。日本チーム本部からいろいろ注意されましたが、選手だけでなくスタッフにもドーピングの勉強が必要と改めて反省しました。やっぱりドーピングの怖さを知るために選手、役員らとともに継続的なドーピング勉強会の開催する必要があると思いました。

TD会議時、国際手話の知識が乏しい私が意見などをはっきりと申し出て、組み合わせなどを覆すことが出来たため、自信を持つことができた。

12年前のアジア大会と比較して参加国が増えていたことに驚きました。今回参加された国の中に技術面がまだまだな国があったけれども、これからスポーツ環境などが整えれば驚異になるのではないかと思います。日本卓球も早いうちにろうスポーツの発展のために、次世代育成、スポーツ環境整備などを行っていくことが一番重要ではないかと思いました。

最後に日本代表選手が国内大会では見せないガッツポーズ、また最後まであきらめないという粘り強さを見せてくれたこと、スタッフ、選手が一丸となって挑んだことを一番評価したい。

## 【手話通訳：井出 敬子〔神奈川県〕】

### はじめに

2012 世界ろう者卓球選手権大会の勢いをそのままアジア太平洋ろう者競技大会につなげる。日本チームは金メダル 2 個を目標にデフ選手 8 名、デフスタッフ 3 名、聴スタッフ 4 名、手話通訳 2 名という構成で臨みました。海外遠征の場合は想定外のことが起こり得ます。そんな時もあわず、環境を整えることがスタッフの急務と任に当たりました。

### 1) 役割の内容

当初より、日本選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようサポートすることを心掛け、手話通訳のみにとどまらず様々な雑務をこなしました。海外遠征では特に選手の生活面でのサポートも重要になってきます。

#### ○コミュニケーション保障

- ・チームミーティング
- ・試合や練習時のアドバイス
- ・応援に駆けつけて下さった方との挨拶等

#### ○その他

- ・本部との連絡
- ・買い出し
- ・球拾い等

## 2) 評価・課題

通常の手話通訳は点で仕事をしています。通訳終了後、コーディネーターに報告書を提出し、次の通訳に引き継いで終了です。しかし、日本ろうあ者卓球協会の通訳は強化合宿から継続しているので、反省点を修正しながら積み重ねていくことができました。また、他スタッフも継続しているので、連携しながら選手を面でサポートできるという利点があります。

そのスタッフについてですが、選手 8 名に対してスタッフ 9 名という人数は恵まれていると思いますが、人数が多い分、スタッフ間の連絡を密にしないといけないと感じました。誰が誰に何を依頼しているのかわかるようにする。ひとりで仕事を抱えてしまうことがないようにする。解決策として、MLを使うという方法もあります。また、本部との連絡方法も複数必要だと思われます。

そして、今大会痛感したのは卓球チームとしてのトレーナー同行の必要性です。ぎりぎりの体力で戦っている選手を前に、少しでも楽にしてあげたい。マッサージをしてほしいと切に願いました。しかし、トレーナーの依頼方法が複雑であったり、制限があったり、日本選手団のトレーナーを卓球チームで独占するわけにはいかなかったりで、悔しい思いもしました。本来トレーナーはケアの方法を教えることが仕事であるそうなので、強化合宿からトレーナーを帯同して、トレーナーの指導のもとで選手が試合のためにコンディションを調整できるようになることがベストだと思います。

## 3) 反省・まとめ

日本のトップレベルの技術と専門知識を持つ指導者に指導を受けられる現在の環境は、超ラッキーです。望んでもそう叶えられるものではないですし、監督御三方はお立ち寄りの監督ではありません。だからこそ今がチャンス。待っているだけではなく、貪欲に学ばなければならないと思うのです。選手の強化のみならず… どういうことかと言うと、世界ろう者卓球選手権大会で注目が集まり、日本ろうあ者卓球協会の活動の幅が広がりました。これからいろいろな方の支え、協力がますます必要になってきます。そういう関係作りを含め、築いた基盤を強固なものにしていけたらと思います。以上。今後の日本チームのご活躍を期待します。選手、スタッフのみならず、お疲れさまでした。そして、すばらしい体験と感動をありがとうございました。

## 【手話通訳：豊島 絵美子〔東京都〕】

### 1) 参加目標

選手が競技に集中できる環境を作ることを目指し、スタッフがスムーズなコミュニケーションをとれるよう手話通訳や



各々への働き掛けを行う。手話通訳業務がない時には、総務の手伝いをする。本大会前に参加した世界ろう者卓球選手権大会とほぼ同じスタッフだったので、その経験を踏まえて仕事を行う。困ったとき、迷ったときの判断基準は、選手の競技環境を整える、今大会だけではなく将来を見据えたコミュニケーション支援。

## 2) 役割の内容

健聴の監督・コーチとろうのスタッフ（コーチを含む）・選手間のコミュニケーション支援。単に言語の変換に留まらず、場合に応じてその言葉に至るまでの思いや経過などを補足したり、スタッフの一員として通訳者の立場からの気付きを提案する。また、選手に対しては、通訳者から体調を尋ねるなど、監督・コーチには話しくいかも知れないことを引き出し、監督・コーチに伝達し、必要なアクションにつなげていく。また、応援者など外部の方（JPC や他競技の選手など）とスタッフ・選手をつなげる。

## 3) 反省・まとめなど

世界ろう者卓球選手権大会に続き、2名の通訳派遣であった。複数であることで、体力的に余裕を持てるだけでなく、通訳者としての動き方などを常に話し合って確認できたことは、精神的にとっても助かった。費用を考えると協会に負担をおかけしたと思うが、この場をお借りしてお礼を申し上げたい。また、合宿から帯同していたことも、選手やスタッフとのコミュニケーションがスムーズにとれた理由の一つと考える。特に、健聴の監督・コーチは、ろうの特性を常に理解しようとして、その思いがろうのスタッフ・選手達に伝わっていたことが良いチームワークが築けた最大要因だと思う。中でも、健聴で手話のできる須藤コーチは、ろう者と健聴スタッフの間で実務、精神面で苦勞されたと思うが、その大変さを伝え切れたかという点、通訳者として足りない部分もあり、反省点である。

また、競技のみならず、それ以外の時間における日本チーム、日本ろうあ者卓球協会、また日本のろうスポーツの発展のための佐藤監督のアドバイスは、今後のろう者自身による運営や発展に大きな示唆を与えて下さったと強く感じた。今後の参考につけ加えると、手話通訳者を帯同していたのは、日本のみであった。他国は、健聴コーチ・スタッフとろう者は主に口話や身振り、簡単な手話、或いは少し聞こえる難聴の選手が通訳をしているようであった。どのような方法が良いのかはメンバーによって異なってくると思うが、都度都度丁寧な振り返りをしつつ慎重な判断が必要になると考える。一通訳者として意見を言わせていただければ、単に言語の通訳だけであればその期間だけの通訳者でも構わないが、このような国際大会時には必ずそれ以外のプラスαが必要となり、臨機応変な対応が求められる。そのためには、大会前の

合宿時・別の大会への参加時を含め、予め決まった通訳者がチームとして取り組めることが望ましいと考える。

最後に、力を出しきった選手と、微力ではあったが今回、協力の機会を与えて下さった日本ろうあ者卓球協会に、改めてお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

## ④選手報告

### 【男子選手：梅村 正樹〔北海道〕】

#### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

アジア大会には先日の世界ろう者卓球選手権大会でメダルを取れなかったため目標金メダル、最低でも銅メダルを目標にして日本を発ちました。

結果は団体戦・男子ダブルス、銅メダル、混合ダブルスは銀メダル、肝心のシングルスでメダルが取れず、全体的に自分としては満足いく結果ではありませんでした。

#### 2) 反省・まとめなど

もっと強気で攻める、両ハンドの攻守バランス、サーブ・レシーブの幅広いプレー、体力強化が必要です。

### 【男子選手：望月 翔太〔神奈川県〕】

#### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

目標：最低でもメダルを取りに行くこと。

日本代表メンバーの1人としての自覚を持ち、挨拶やマナー、行動をしっかりと行いたい。

試合に限らず、外国の選手達と交流を深め、自分の視野を広めたい。

達成度：最低でもメダルを取ることができたので、結果としては良かったと思う。

一方男子個人戦、男子ダブルスの結果は良くなかったため、それを受け止めて、次に向けて切り替えたい。

今後とも挨拶、マナーをしっかりと行っていきたい。

試合が終わった後、観光を通して、韓国の文化に触れることができ、大変良い勉強になった。

#### 2) 反省・まとめなど

今まで何回か世界の大会に出場してきて、今回で初めてメダルを獲得することができて良かったと思うが、まだまだ自分のプレーに課題がたくさん残っている。男子個人戦、男子ダブルスでも結果があまり良くなかったため、次に向けて、一つひとつの課題を克服していくよう、練習やトレーニングを続けていきたい。

練習やトレーニングに限らず、生活においても体調を崩さないよう、睡眠の質や食事の栄養バランス、生活リズムの維持等をしっかり取っていきたい。

当たり前のことは当たり前やることを意識して、今後とも継続的に精進していきたいです。

#### 【男子選手：有馬 敏生 [神奈川県]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

アジア大会に参加し、メダルを獲得することを目標にしました。

結果は団体戦銅メダル、男子ダブルス銅メダルを獲得出来ました。

強敵の中国が不参加だったので、メダルを獲得するチャンスは今回しかないと思い、全力を尽くしました。

団体戦はフル出場で、5勝1敗でメダル獲得に貢献できたため、自分なりの評価は大変できたほうだと思います。

男子ダブルスについては、準決勝は台湾ペアに敗れ、3位決定戦は台湾ペアと対戦しました。セットは3-1とリードしましたが、体力のある若い台湾ペアに慣れられて来たため、3-3と追い詰められました。しかし、最終セットは強い気持ちで対応し、勝つことが出来ました。

メダル獲得できたものの、色が一番下のほうなので、次回は中国が参加することを想定して、良い色のメダルを目指たく体力及び技術、精神面を鍛えていきたいと思っています。

##### 2) 反省・まとめなど

混合ダブルスは準決勝進出できたものの、韓国ペアに敗れ、3位決定戦はチームメイトである日本ペアに敗れたためメダルを獲得出来ませんでした。このとき腹痛による集中力を欠いてしまったのが敗因です。多分韓国製ウォーター飲料と思うが・・・これも自分の注意不足だと思います。

男子シングルスはベスト8進出できましたが、世界ランク1位の台湾選手と対戦し、天と地の差を感じた敗北となりました。

その前のシングルスベスト16で、二度目の対戦となるイランのエースと対戦しました。前回はマッチポイントが握られながら逆転勝ちしました。今回も同様に逆転勝ちすることが出来ましたので、それも含めてメダル2個獲得できたことは大変良かったと思います。

#### 【男子選手：上江洲 光彦 [沖縄県]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

好調な時期に過酷な練習（オーバーワーク）で右肘関節炎になり、2か月練習できなかった為、団体戦で2試合しか出

場することができませんでした。これは体のコンディション等に関する自分の知識不足で自己責任だと痛感しています。

また、数年ぶりの国際大会ということもあり、当初は過度の緊張で身体が硬くなり、本来の実力を充分出すことができませんでした。

今後、国際大会（海外）に出て、沢山の経験を積み、自信をつけて臨まなければならないとつくづく感じさせられました。

自分自身としては、満足できない結果に終わりましたが、個人ベスト16、男子・混合ダブルスでベスト8入り出来たことを糧に今後の練習に繋げていきたいと思っています。

##### 2) 反省・まとめなど

試合中、普段どおりのプレーをすれば勝てるゲームを落としてしまった事、冷静に自己分析・相手分析する事が出来なかった事、又、技術面、メンタル面でも力を付け自分に対して常に厳しい試練に取り組みないといけない事など、今回は、この試合と通して色々な弱点を確信できたように思います。また国内ろうあ者大会の範囲で自己満足してしまうと、世界から取り残されることは、もちろんの事、ろうあ者大会の域を出て、健常者大会の域で高い目標を立てながら、常に挑戦を続けていかない限り、向上への道は厳しいこともつくづく痛感しました。

自分にとってこのアジア大会は、とても意味のある貴重な体験でした。

最後に日本ろうあ者卓球関係者の皆様から、温かいご声援を頂きまして本当にありがとうございました。

#### 【女子選手：上田 萌 [茨城県]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

〈参加目標〉

挑戦者の気持ちで試合に臨む。

個人戦だけでなく、団体戦でも自分が点を取ってチームに貢献できるよう頑張る。

〈評価と今後の課題〉

団体戦の時から自分のプレーができたしチームに貢献することができたと思う。

常に冷静にプレーをすることができた。

課題点はカットマン対策とダブルスのレシーブの強化。

##### 2) 反省・まとめなど

今回のアジア大会では、日本女子は追われる立場で精神的に苦しい戦いになるだろうと予想していたので、前もってどんな相手でも平常心で戦うことを心がけて試合に臨むようにしました。なので、試合の時は冷静に自分の卓球ができたと思うし、それが結果にもつながったのだと思います。

けれど、まだまだ多くの課題点があるので、一つずつ克服できるように頑張りたいです。

私たちを支えてくださった監督、コーチ、スタッフ、手話通訳者、応援者の皆様、本当にどうもありがとうございました。

#### 【女子選手：佐藤 理穂 [東京都]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

私は、初めてアジア大会に参加しました。2週間前の世界大会で優勝しているので、この大会では追われる立場でしたが、「チャレンジャー」の気持ちで向かって行き、金メダルを獲得できるよう取り組みました。またこれまで強化合宿で、選手やスタッフ皆で力を合わせてやって来た事を試合で全て出せるように心掛けました。その結果、メダルは金2・銀1・銅1の4つのメダルを獲得する事ができ、本当に嬉しかったです。反省点では、大会後半になるとまだまだ体力的にきつくなってしまい、それと共にメンタル面も弱くなる所があるので技術はもちろんですが、長期大会にも耐えられる体づくりをする事が大きな課題です。

##### 2) 反省・まとめなど

こうしてメダルを獲得できたのは、普段から応援やサポートをして下さった方々のお陰と感謝しています。デフリンピックもあと1年となりました。今回の経験を生かして、卓球競技だけではなく全競技の日本代表として戦う事を自覚して頑張っていきたいと思います。最後に、全日本ろうあ連盟、日本ろうあ者卓球協会の方々や今回の監督・スタッフの全ての方々にお礼を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。

#### 【女子選手：有馬 千寿子 [神奈川県]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

日本卓球王国復活の為に金メダルをより多く取得する事が我々の目標である。自分の技術でどこまで通用出来るか試すのも参加の一つである。

女子団体等で金メダルを取得出来たのはとても大きく日本に貢献出来たと思います。

特殊ラバーに対して対応出来るようにする必要がある。

フォアツッツキの打つタイミングに気をつける事やフォアにアンチをより多く使用する事や攻撃力をつけるなど今後の課題である。

##### 2) 反省・まとめなど

足の動きがなっていない為、スタートが遅れたり、台上ツッツキの凡ミスが目立ったりしたのもっと前後にフットワー

クを取り入れるなどしなければならぬと思いました。

また攻撃力が足りなかった部分があり、普段の練習のようにタイミングを計らうなど自信を持って打てるようにしたい。今回は中国が参加しなかった為、メダルを取れるチャンスがいくつかはありましたが団体以外は及ばず残念な結果になってしまいました。

何が足りなかったのかを課題に取り上げて一から出直したいと思います。

#### 【女子選手：牧山 洋子 [群馬県]】

##### 1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

・参加目標として、最後まで集中力を持って全力で戦う。予選通過し決勝トーナメント進出する。ベスト4入りということも自分に目標として課しました。

・目的に対する達成度としては、4日間の過酷なスケジュール、ホテルから会場までの移動に重い荷物を持つことに慣れていないこともあり痛めていた肘を混合ダブルス戦で悪化、シングルス戦の前日から最悪のコンディションに陥ってしまいました。なんとか痛み止め注射で乗り切り、絶対出場したいという執念が予選1位につながったのではないかなと思います。

結果は目標まで一歩及ばずでしたが、初めての国際大会出場としては納得のいく内容でありました。(戦術的には全て出し切ったと思っています)

・今後の課題として体調管理をきちんとする、体力向上を図る、そして相手のミスを待つことよりも自分のミスを出さないことを第一にして基本忠実に徹したいと思います。

##### 2) 反省・まとめなど

初代表として参加させていただきました。

参加する前は、あまりにも自分を過小評価し試合寸前まで不安でいっぱいでした。世界ろう者選手権大会でスタッフとして選手をサポートした時、国際大会のアジア地域のレベルの高さに驚き、「私なんか代表でいいんだろうか？ダブルスやシングルスで予選通過できるだろうか？」などとナーバスになってしまい、世界大会終了後、殆ど毎日練習していました。年齢的にも代表は最後かもしれない、何がなんでも最後まで集中力を持って全力で戦う、予選通過して決勝トーナメント進出する、ベスト4入りということを中心に目標として課しました。というよりも佐藤監督がアジア大会の目標を掲げていた挑戦！年齢的にこの大会でどこまで行けるか挑戦！このゲキに心を掻き立てられました。

また、ダブルス戦に関しては出足が良くなく、つなげることができていなかったです。特に混合ダブルスですが、練習不足もありますが、パートナーの良さを試合で引き出すことが

出来ず、どうやったら勝てるのか、どうやったらつなげられるのかわからないまま終わってしまった感じです。パートナーの足をひっぱってしまったこと、力も入れすぎて凡ミスが多かったことも反省材料です。

そして、監督やコーチ、スタッフの方々の応援、サポートに感謝し今後も感謝の心を忘れずに高い目標を持って頑張っていこうと思います。



⑤記録写真



TD 会議



上江洲選手



有馬選手



望月選手



牧山選手



アドバイスをする青山コーチ



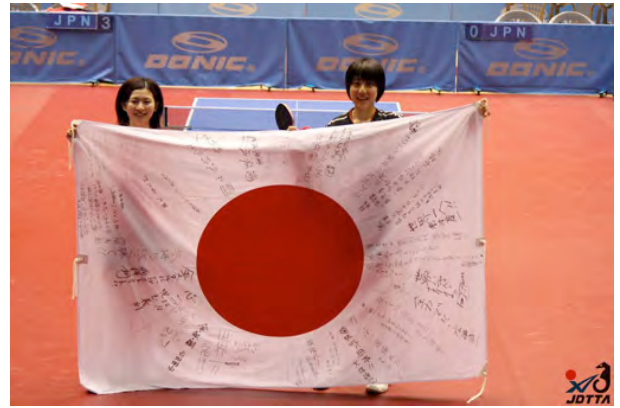
アドバイスをする西村コーチと手話通訳の豊島さん



男子ダブルス（梅村&有馬）



女子シングルス決勝戦 上田対佐藤



女子シングルス決勝戦を終えて



表彰式 男子団体戦



表彰式 女子団体戦



表彰式 混合ダブルス



表彰式 男子ダブルス



表彰式 女子ダブルス



表彰式 女子シングルス